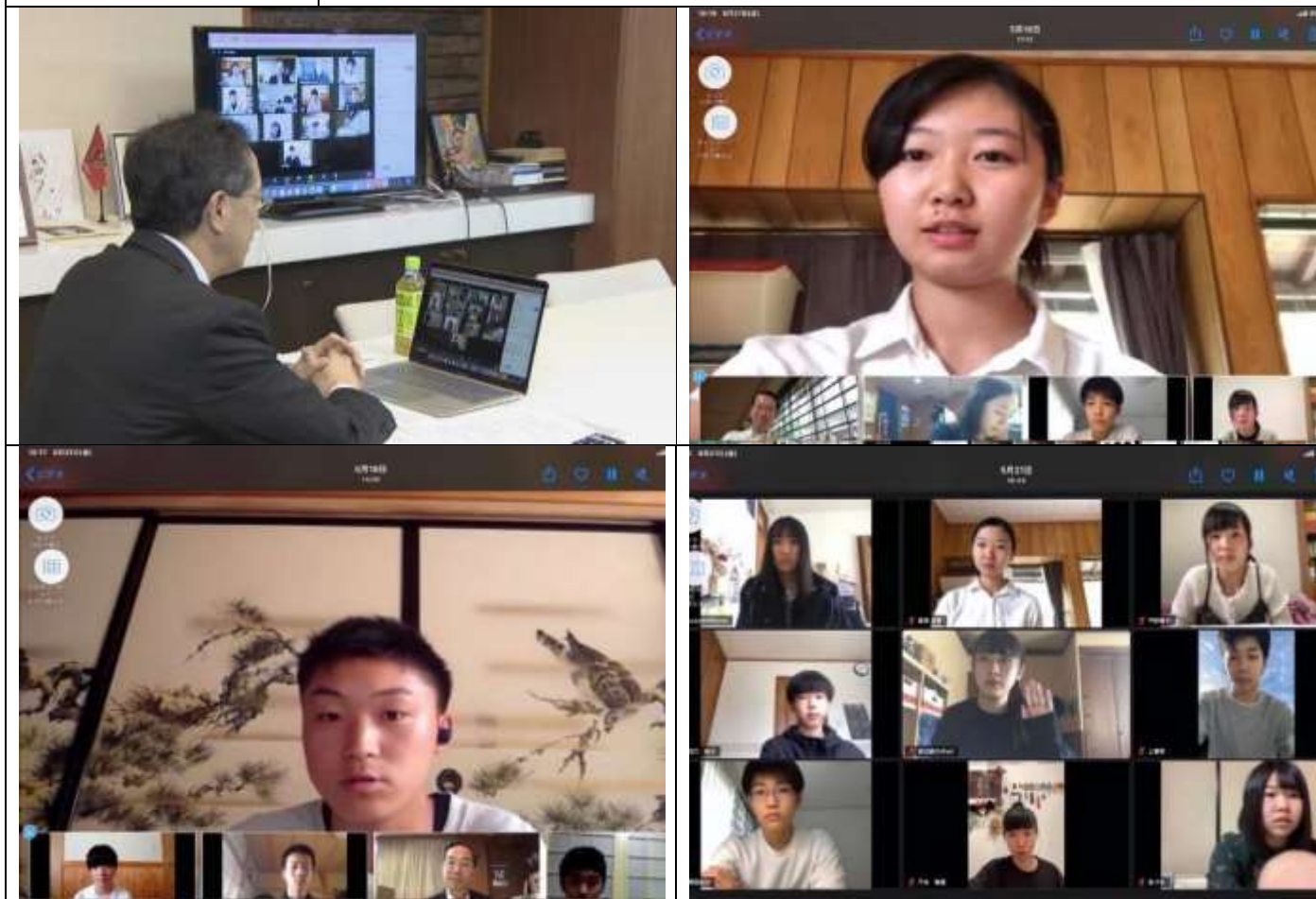


## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	都竹市長オンライン特別授業
実施月日・実施場所	令和2年5月19日（火）21日（木） 場所：参加生徒各自宅
実施目的	新型コロナウイルス感染拡大により、学校休校や外出自粛で地域や高校生のライフスタイルも変わる中、地域のことを考え社会で起きていること知る時間をつくる。
対象（生徒）	希望者 5名



## 具体的な実施内容

都竹飛騨市長さんによる講義と対談

第1部 「今の生活を振りかえってみよう」ワークショップ

第2部 都竹市長が新型コロナの質問にお答えします！

第3部 質疑応答

本校からは1日目は4名、2日目は2名が参加し積極的に発言していました。特に両日ともに参加した3年生の倉家さんはコロナ禍における飛騨市の経済の活性化について提案したり、他校の生徒の「1人10万円の特別定額給付金は将来、私たちがその借金を背負うのか」と質問に対して、MMT（現代貨幣理論）を持ち出して「必ずしもそうではないのでは・・・」と意見を述べるなど精力的に発言していました。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	第1回双葉保育園との交流会（七夕）
実施月日・実施場所	令和2年7月20日（月） 場所：飛騨神岡高校
実施目的	園児との交流を通して幼児の発達を理解し、ふさわしい関わり方について学ぶ。さらに、高校生活の中で、幼児からお年寄り等様々な方々との活動を体験することによって、地域と共に成長し、支え合って生きていくことを考えさせたい。
対象（生徒）	飛騨神岡高校 文理2系列「こども文化」選択者2年生6名



## 具体的な実施内容

例年は本校に園児を迎えて年5回の交流を行っているが、第一回目の交流は新型コロナウイルスの影響で対面での交流は難しいと考え、限られた条件の中で何が出来るかアイデアを出し合った。話し合いの結果、手作りのDVDを作成しプレゼントする案に決定した。テーマを「七夕」に設定し、七夕物語のペープサートを制作・実演したものと、七夕飾りや短冊を手に持ちながら自己紹介をしたものをDVDにおさめ、七夕の時期に合わせて園児に届けた。また、生徒が作った七夕飾りと短冊は保育園にある笹の葉に飾ってもらった。

後日、保育園より園児一人一人の顔写真と名前が入ったかわいい壁面作品をいただいた。その中にDVDを鑑賞する園児の写真とお礼の手紙も添えられており、心が温まった。触れ合うことはできなかったが、有意義な交流のスタートを切ることができた。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	連携型中高一貫教育 Step by Step 訪問面談	
実施月日・実施場所	令和2年7月14日(火) 場所: 山之村中学校 令和2年7月21日(火) 場所: 神岡中学校	
実施目的	中高連携事業の一環である Step by Step (中高連携した教育活動の記録) のチェックおよび生徒との面談を通して、中学3年生の取り組みの様子を確認し、生徒の学習意欲の喚起につなげる。	
対象(生徒)	神岡中学校 中学3年生	山之村中学校 中学生
 		
 		

## 具体的な実施内容

今年度も、飛騨神岡高校より数学・英語の各教科3名の教員が連携中学校へ訪問し、中学3年生一人一人と4～5分の面談を行います。面談の内容は、課題(連携型選抜)の取り組み状況について、確認・質問・アドバイス等、個に応じた指導を行います。英語の面談では、英語で簡単な質問をします。

また、山之村中学校には本校より数学・英語の各教科1名の教員が訪問し、中学3年生を含む全員に学習のアドバイスをします。

中学生が高等学校の教員と勉強の話することは、学習面でとても刺激になり、学習意欲の喚起につなげることができました。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	1年次生 産業社会と人間 「社会人講話（卒業生と語る会）」
実施月日・実施場所	令和2年8月25日（火）場所：本校 ゼミナール室
実施目的	1年次のキャリア教育として学ぶ「産業社会と人間」において、将来の進路実現を目指した系列選択及び科目選択を具現化するために、進路実現を果たした卒業生の体験談を聞くことで進路決定やその実現までの取り組みについてアドバイスを受ける。また、これを機会に進路選択をより身近なものにとらえ、各自の系列・科目選択を明確なものとする。
対象（生徒）	1年次生 54名



## 具体的な実施内容

参加OB	青山 椋	(H31.3卒 工業技術機械) アルプス薬品工業株式会社	
	井戸坂 成美	(H31.3卒 ビジネス会計) ナウエ株式会社	
	阪口 りさ	(H31.3卒 ビジネス会計) 株式会社本陣平野屋	
	秋田 伍貴	(H31.3卒 文理2) 斐太自動車部品株式会社	
	米澤 太志朗	(H31.3卒 文理2) 飛騨市森林組合	
	小木曾 都	(H31.3卒 文理2) 京都女子大学 文学部	※オンライン
	愛知 夕奈	(H31.3卒 文理1) 名城大学 経済学部	※オンライン
	山腰 彩也香	(H31.3卒 文理1) 東海学園大学 健康栄養学部	※オンライン

「産業社会と人間」の授業において、8名のOBを講師として、系列選択のことや、頑張ったこと、現在の就職先・進学先のことなど体験談を話していただきました。これから系列選択をしていく1年次生にとって貴重な話を聴くことができたようでした。

「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」 事業報告書

事業名称	「中高連携交通安全運動」
実施月日・実施場所	令和2年9月11日（金）場所 バロー神岡店駐車場及び東町周辺
実施目的	令和2年度秋の交通安全運動が9月21日より30日までの期間「子供を始めとする歩行者の安全、自転車の安全利用の確保」「高齢運転者等の安全運転の励行」「夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止」の3点に重点を置き実施される。この運動に伴い、本校でもMSリーダーズ1年生と家庭クラブ委員が協力し、交通安全の呼びかけをバロー神岡店駐車場及び東町周辺において実施する。また、中高連携の活動として本校生徒と神岡中学校MSJリーダーズが協力し活動を進める。
対象（生徒）	地域住民（本校MSリーダーズ1年生11名、家庭クラブ委員14名、神岡中学MSJリーダーズ20名）



具体的な実施内容

秋の交通安全運動に伴い、警察署の方と連携し地域住民や通行車両の運転手に対して交通安全の呼びかけを行った。家庭クラブが作製した安全を願うグッズも同時に配付した。

<生徒の感想>

みんな笑顔でできていたし、沢山のの人に呼びかけができました。声をかけている中で「ありがとう」「おつかれさま」と言ってくれる方がいて嬉しかったし、参加できて良かったと温かい気持ちになりました。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	1年次生 産業社会と人間 「パネルディスカッションガイダンス」
実施月日・実施場所	令和2年9月15日（火）場所：本校ゼミナール室・各1年生教室
実施目的	様々な分野の外部講師をパネラーとして招いて、生徒を交えてディスカッションを行い、今後の進路選択についての理解を深める。
対象（生徒）	1年次生 54名



## 具体的な実施内容

外部講師 大学・短大：中部学院大学  
企業：柏木工（株）

専門学校：ベルフォートアカデミーオブビューティ  
企業：（株）水明館

5 限目 4名の外部講師のパネラーに対して、生徒が疑問に思っていること等を質問し、それぞれの立場で答えていただいた。進路選択にとって大切なことなど学ぶことができました。

6 限目 4会場に分かれて、外部講師から学校関係からは、具体的な学校での授業内容や学校生活について、企業関係からは、業務内容や働く上で必要なことなど聞くことができました。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	流葉山山頂標識設置
実施月日・実施場所	令和2年9月19日(土) 場所：流葉山
実施目的	登山部の活動は、他の部活動と異なり、校外でのフィールドワークが主である。その中で、いつも利用させていただいている地元神岡や、北アルプス周辺の山々について何かできないか考え、山頂標識の製作、設置に至った。
対象（生徒）	登山部
 	
 	

## 具体的な実施内容

時間：13時30分～17時30分

参加生徒：2年 大林通・中山蒼葉／1年 森口朋香・前田結太

内容：山に登れば多くの方が山頂標識と共に写真を撮るので、山頂標識はある意味その山の顔である。しかし、地元神岡の代表的な山である流葉山には山頂標識がなかった。そこで、学校で不要になった平均台を加工して山頂標識を製作し、設置してきた。

流葉山山頂からは北アルプスを眺めることができ、その景色は登山部の部活動Tシャツにも使われている。今回、引退した3年生も製作に携わった標識をようやく設置することができ、部員たちも達成感を感じていた。

※今回の標識設置については、事前に許可をとってあります。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	第2回双葉保育園との交流会
実施月日・実施場所	令和2年10月5日（月） 場所：飛騨神岡高校 アスレチックルーム
実施目的	園児との交流を通して幼児の発達を理解し、ふさわしい関わり方について学ぶ。さらに、高校生活の中で、幼児からお年寄り等様々な方々との活動を体験することによって、地域と共に成長し、支え合って生きていくことを考えさせたい。
対象（生徒）	飛騨神岡高校 文理2系列「こども文化」選択者2年生6名



## 具体的な実施内容

コロナ渦の中で感染防止対策を万全にし、第二回目の交流会は対面での交流が実現した。密にならないように広い部屋を確保し、ゲームやダンスをして交流した。ゲーム「だるまさんの一日」では、生徒の「だるまさんが〇〇した！」という掛け声で、園児がそのジェスチャーをする姿がとてかわいく、緊張していた生徒たちも和んだ様子であった。次に、パプリカの音楽に合わせて全員で元気にダンスをした。最後に、事前に制作した園児一人ひとりの名前が入った手作りスノードームをプレゼントした。心を込めて作ったプレゼントを受け取った園児たちが喜ぶ姿を見て、生徒たちからも笑顔がこぼれた。今回の交流会を振り返り、次回の交流会がさらにいいものになるよう計画していきたい。



## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	第1回地域ぐるみ「ふるさと挨拶運動」
実施月日・実施場所	令和2年10月13日（火）～令和2年10月16日（金） 場所：神岡小学校玄関、本校生徒昇降口
実施目的	第1回地域ぐるみ「ふるさと挨拶運動」を10月13日から10月16日の4日間、神岡小学校と本校の2カ所で実施。登校する児童、生徒に対して「目線に合わせて挨拶する」「大きな声で挨拶する」などのテーマを設定し、「おはよう」という朝の一言から相手を元気にできるような挨拶運動を展開する。今年度は新型コロナウイルスの影響により、1回のみの実施となったが、この期間を通して、他者との関わりや挨拶の大切さについて改めて感じてほしい。
対象（生徒）	本校生活委員会、MSL 計53名 神岡中学校MSJL 神岡小学校代表者



## 具体的な実施内容

神岡小学校での挨拶運動では、児童の目線に合わせることや挨拶と同時にエアタッチ（感染予防）をするなど、生徒間で工夫した挨拶方法を取り入れ、挨拶をする側もされる側も笑顔の溢れる挨拶運動となった。また終了後の反省会では「小学生が明るく元気な声で挨拶を返してくれた」「コロナに負けず活気を出していこう」などの反省を聞くことができた。

本校での挨拶運動では、生徒昇降口に整列し、徒歩やバスで登校する生徒に対して挨拶運動を行った。また生活委員会やMSL以外にも野球部や女子ソフトボール部の生徒も参加し、活気あふれる挨拶運動となった。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	1・2年生模擬体験授業
実施月日・実施場所	令和2年10月27日（火） 場所：本校
実施目的	さまざまな進路の特徴や学ぶ内容について、対策講座や模擬体験授業を通して、今後の進路設計の一助とする。
対象（生徒）	1年生・2年生



## 具体的な実施内容

生徒はそれぞれ希望する講座に分かれて、体験授業を受講しました。

5限 1年生 グループワーク「働き方&収入 仮想体験」

2年生 進学「マネープランニング講座」 ・ 就職「コミュニケーション能力UP講座」

6限 1年生全員・2年生進学 分野別模擬授業・職業別体験授業

1「外国語」 2「経済・経営」 3「電気・機械」 4「SE・GC」 5「自動車整備士」 6「建築」

7「デザイナー・イラストレーター」 8「医療秘書・医療事務」 9「ホテルスタッフ」 10「公務員」

11「ネイリスト・メイクアップアーティスト」 12「調理師・パティシエ」 13「スポーツインストラクター・教員」 14「幼稚園教諭・保育士」

15「看護師」 16「作業療法士・理学療法士」 17「介護福祉士」 18「歯科衛生士」 19「動物関連」

20「声優」 21「美容師」 2年生就職 業種別説明会 1「製造」 2「販売」 3「サービス」

4「宿泊・観光」 5「公務員（事務・消防・警察）」 6「公務員（自衛隊）」

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	先輩と語る会
実施月日・実施場所	令和2年10月27日（火）場所：神岡中学校
実施目的	連携型中高一貫教育を軸にした「先輩と語る会」により、確かな学力を身に付け、自分の夢に向かって挑戦する子どもたちを地域ぐるみで育てる。
対象（生徒）	飛騨神岡高校3年生6名と神岡中学校3年生



## 具体的な実施内容

例年、就職内定者や進学先決定者が参加していたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、就職試験が1か月先延ばしになったこともあり、参加者の多くは結果待ちの生徒であった。

参加生徒の内訳は、進学希望者が3名、就職希望者が3名の計6名で、それぞれがグループとなって、3年生の2組に話をし、その後質疑応答、感想を発表する形式をとった。内容は①「高校生活の様子」②「高校生の今思うこと」③「将来に関わって」の3点であった。参加生徒は各自の中学時における高校選択のことや、本校入学後「産業社会と人間」を通し、自分にあった系列を選択するまでの経緯、部活動や学校行事、各系列別の学習内容、そしてそれぞれの進路について具体的に中学生に伝えた。また、中学生からは学習時間や将来の進路について質問や、進路選択において大変参考になったという感想が聞かれた。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	飛騨神岡高校 魅力ある高校づくり推進事業「部活動交流」
実施月日・実施場所	令和2年11月7日（土） 場所：神岡中学校体育館
実施目的	総合型地域スポーツクラブ「(一社) 飛騨シューレ」より、地域で頑張っているバドミントン競技者・指導者を対象に、競技力および指導力の向上を目的としたエキシビジョンマッチへの参加募集がありました。バドミントンを通して、地域の人たちとのふれあい、地域とのつながりを大切にするを目的としました。
対象（生徒）	バドミントン部 14名
 	
 	

## 具体的な実施内容

バドミントン部の1・2年次生がエキシビジョンマッチに参加しました。プロの技術を肌で感じ、直接指導を受け、各個人の問題や部活動での課題を明確にすると共に地域の人たちとの交流を深めることを目的に参加しました。地域で活動してみえる一般の方や、小学生等も参加しました。

最初にプロの選手によるダブルスの模範試合を見学しました。スピード、正確さ、迫力がありました。

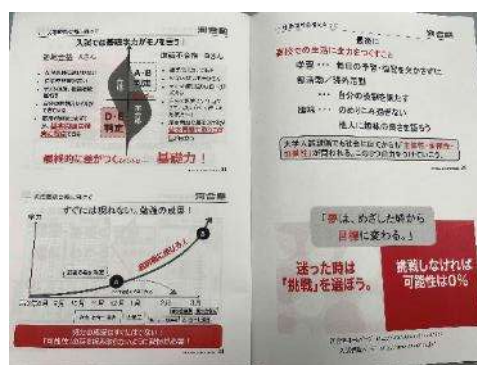
次に参加者を3グループに分け、一緒にダブルスの試合をしました。堅苦しいものではなく、みんな楽しそうにプレイしました。休み時間も選手に挑む部員もいました。バドミントンの楽しさを改めて知ることができ、自分たちの課題も見えてきました。試合後は、積極的に選手にアドバイスを受けに行く姿が見られました。

最後に、記念のサイン色紙をいただき、個人的にもサインをお願いする姿が見られ、プロ選手との距離が更に近づいたように感じました。予定していた時間もあっという間に過ぎ、とても充実した内容でした。このような機会があれば、また参加したいと思います。

【招待選手】佐藤冨香：ヨネックス 與猶くるみ：再春館製薬所

「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	2年次生 進学講話
実施月日・実施場所	令和2年11月11日（水） 場所：本校
実施目的	文理1系列を選択している生徒の進学に向けての進学講話を聴き、大学等へ進む目的や意義、高校との違いについて考え意識の高揚を図る
対象（生徒）	2年次生 文理1系列選択者18名



具体的な実施内容

河合塾佐藤信一講師による講演会が実施された。「進路実現のために」と題し、大学受験の基礎知識や受験に向けての心構え、今からできることなどをお話し頂いた。

ソフトバンク孫正義社長の人生50年目標の例をあげて、人生においても、進学受験においても、先を見据えた目標を持ち、一つ一つ達成していくことの大切さを教えていただいた。

また、今年度から大幅に変わる大学入試についての内容や、受験に向けて高校2年生の今意識すべきことなど教えていただいた。

生徒たちは、日頃の学習がいかに大切であるか、改めて実感しているようであった。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	飛騨神岡高校 魅力ある高校づくり推進事業「地元企業見学」
実施月日・実施場所	令和2年11月11日（水） 場所：柏木工 神岡部品工業 神岡セラミック
実施目的	地域の企業見学によって、職業の選択決定に必要な能力や態度の育成と、現実の産業社会やそのなかでの自己の在り方・生き方を理解し、進路意識の高揚と産業に対する正しい理解を深めるとともに、今後の進路を考える上での参考とする。
対象（生徒）	1年次生 53名



## 具体的な実施内容

1年次生が地元企業（柏木工・神岡部品工業・神岡セラミック）を見学しました。地元の企業に関心を持ち、進路選択の参考にすることを目的に実施しました。

各企業で概要説明を受け実際の作業現場を見学させていただきました。ものづくりに対するこだわりや、それぞれの持ち場で仕事に熱心に取り組む社員の方々の姿を実際に見て、仕事の大変さや、やりがいの大切さに気付くことができ、また、地元の企業について理解を深めることができました。

地元企業への就職希望者が年々減ってきており、企業も事業の存続が難しくなっている中で、こうした取り組みを通して、地元企業へ目を向けることの大切さを感じました。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	2年生 職業別探究学習 「事業者との懇談会」
実施月日・実施場所	令和2年11月24日（火） 場所：飛騨神岡高等学校
実施目的	職業について主体的に情報を集め、興味を持ち、「職業の役割」「働くことの意義」について考え、自己の職業観・勤労観を持つ。 実際に事業者から話を聞き、それぞれの職業の抱える諸問題に目を向け、将来に向けた進路意識を持つ。
対象（生徒）	2年次生 47名（工業技術・ビジネス会計・文理2系列）



## 具体的な実施内容

新型コロナウイルスの影響により、例年実施していたインターンシップを実施することが出来なくなりました。そのインターンシップの代替案ということで、今年度は「職業別探究学習」を実施した。

11種類の職種のグループに分かれ、事前にインターネットや求人票などで職業について詳しく調べ、職業の抱える諸問題や職業のやりがい等に目を向け、自分たちで主体的に質問を準備し、実際にその職業に就いている11の事業者の方に来校いただき話を聞いた。

事業者側からの一方的な企業説明などは受けてきたことはあるが、今回は「探究学習」であることを意識し、教員は一切懇談には加わず、自分たちで進行し、事業者の方へ積極的に質問をする姿がみられた。

今後は事業者から聞いた話をまとめ全員の前で発表する。聞いた情報を全員で共有できるよう、コンピュータを用いた発表ではなくB紙にまとめて発表する。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	連携型中高一貫教育 Step by Step 第2回訪問面談		
実施月日・実施場所	令和2年11月24日(火) 場所：山之村中学校 令和2年12月2日(火) 場所：神岡中学校		
実施目的	中高連携事業の一環である Step by Step (中高連携した教育活動の記録) のチェックおよび生徒との面談を通して、中学3年生の取り組みの様子を確認し、生徒の学習意欲の喚起につなげる。		
対象(生徒)	神岡中学校 中学3年生 山之村中学校 中学生		
			
			

## 具体的な実施内容

今年度も、飛騨神岡高校より数学科3名・英語科2名の教員が連携中学校へ訪問し、中学3年生一人一人と4～5分の面談を行います。面談の内容は、課題(連携型選抜)の取り組み状況について、確認・質問・アドバイス等、個に応じた指導を行います。英語の面談では、英語で簡単な質問をします。

また、山之村中学校には本校より数学・英語の各教科1名の教員が訪問し、中学3年生を含む全員に学習のアドバイスをします。

中学生が高等学校の教員と勉強の話をする事は、学習面でとても刺激になり、学習意欲の喚起につなげることができました。



## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	2年生 職業別探究学習 「発表会」
実施月日・実施場所	令和3年1月12日(火) 場所：飛騨神岡高等学校
実施目的	職業について主体的に情報を集め、興味を持ち、「職業の役割」「働くことの意義」について考え、自己の職業観・勤労観を持つ。 実際に事業者から話を聞き、それぞれの職業の抱える諸問題に目を向け、将来に向けた進路意識を持つ。
対象(生徒)	2年次生 47名(工業技術・ビジネス会計・文理2系列)
   	

## 具体的な実施内容

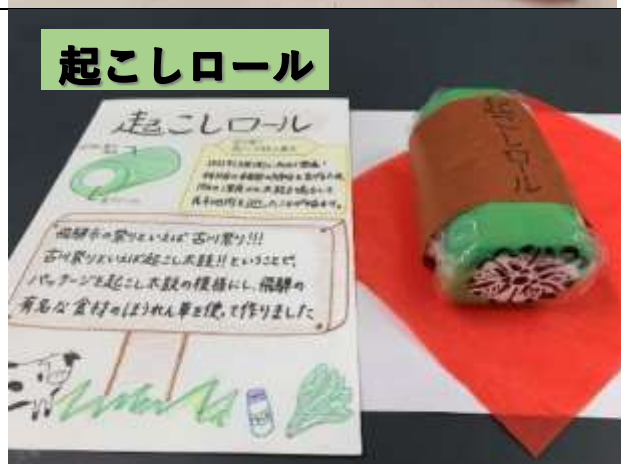
新型コロナウイルスの影響により、例年実施していたインターンシップを実施することが出来なくなりました。そのインターンシップの代替案ということで、今年度は「職業別探究学習」を実施した。

11種類の職種のグループに分かれ、事前にインターネットや求人票などで職業について詳しく調べ、職業の抱える諸問題や職業のやりがい等に目を向け、自分たちで主体的に質問を準備し、実際にその職業に就いている11の事業者の方に来校いただき話を聞いた。

発表会では、それぞれのグループに分かれて事業者の方から聞いた話を中心にB紙にまとめて発表した。事業所の紹介や、それぞれの職業のやりがい、問題点、離職の理由、様々な観点から発表することができ、その発表を聞くことにより学年全体で情報を共有することもできた。来年度の進路選択に向けて、有意義な活動を行うことができた。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	フードデザイン「飛騨市のご当地グルメを開発しよう」
実施月日・実施場所	令和3年1月・飛騨神岡高校
実施目的	地域の人材と繋がり、地域資源や地域課題を理解し、地域社会に貢献できる力を身につける。 地域の発展に寄与する態度を育成する。 商品開発を通して問題解決能力を身につける。
対象（生徒）	飛騨神岡高校 文理2系列「フードデザイン」選択者3年生8名



## 具体的な実施内容

フードデザインを選択する三年生8名は、卒業後地元を離れそれぞれの進路を歩むことが決まっている。地元である飛騨の地域資源や地域課題を理解し、地元地域の発展に寄与する態度を育むために飛騨市のご当地グルメの開発を試みた。初めに、タブレットを用いて巷で流行しているお土産やグルメ等を調べ、流行の理由や売れる商品を生み出すために必要なことは何かを考察した。次に、二人一組のグループに分かれ、飛騨の食材・イベント・観光スポット等を調べたうえで、オリジナル飛騨市ご当地グルメを考案した。このアイデアをもとに食材を用いて試作ができればよかったのだが、新型コロナウイルスの影響で調理実習は自粛となったため、粘土等を用いサンプルを制作した。高校生ならではの視点と柔軟なアイデアが非常におもしろい。今後は、このご当地グルメの案と意志を来年度のフードデザイン選択者に引き継ぎ、実際に食材を用いて試作する予定である。そして、地域の事業所や地元の方の意見を聞きながら、より良いものを作っていきたいと考える。

「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」 事業報告書

事業名称	地域のポスター制作
実施月日・実施場所	令和3年2月4日（木） 場所：市内各事業所
実施目的	ビジネス会計系列の情報処理の授業の一環として、地域（飛騨市や生徒の居住地）のなじみのあるお店等のポスターを工夫して作成する授業。 一部店舗に生徒が赴いて完成したポスターを手渡した。
対象（生徒）	3年ビジネス会計系列



具体的な実施内容

ビジネス会計系列3年生が3年間学んだ技術を活かし「情報処理」の授業で地域のポスター制作に取り組む。

制作にあたっては生徒たちが自主的に学校のある神岡町や自身に馴染みのあるお店に足を運んで経緯を説明し、写真を撮らせていただいたり、お話を聞いたりして行った。

地域との連携に思いを込め、デザインやキャッチフレーズに工夫を凝らし、パソコンのスキルだけではない成長が窺える作品が完成した。

一部店舗に生徒が赴いて完成したポスターを手渡した際には事業者様も大変喜ばれ、さっそく店頭に掲示していただく店舗もあった。

## 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」事業報告書

事業名称	先輩と語る会
実施月日・実施場所	令和3年2月4日（火）場所：神岡中学校
実施目的	連携型中高一貫教育を軸にした「先輩と語る会」により、確かな学力を身に付け、自分の夢に向かって挑戦する子どもたちを地域ぐるみで育てる。
対象（生徒）	飛騨神岡高校3年生6名と神岡中学校2年生



## 具体的な実施内容

参加生徒の内訳は、進学合格者が3名、就職内定者が3名の計6名で、自分の進路先を踏まえて、2年生の1組と2組でそれぞれに自分の進路決定にかかわる話をした。話を終えた後、各クラスで質疑応答、感想を発表する形式をとった。内容は①「中学3年生の過ごし方」②「高校を選んだ理由」③「高校生活について（学習や部活動）」④「進路決定について（プロセスやすべきこと）」の4点であった。

参加生徒は各自の中学時における高校選択のことや、予習や復習の大切さ、「産業社会と人間」を通して自分にあった系列を選択するまでの経緯、部活動や学校行事、各系列別の学習内容、社会で求められるもの等について具体的に中学生に伝えた。また、中学生からは学習（時間や克服方法）や将来の進路選択において大変参考になったという感想が聞かれた。